

## 2. 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームふれあいの丘

作成日 令和6 年 6 月 14日

### 【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題                                                                  | 目 標                                                | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容                                                            | 目標達成に要する期間                |
|------|------|-------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|
| 1    | 9    | 感染症対策から、外出外泊の制限があり、地域との交流が途絶えたり、元々、家族との交流が少ない方もおられる。また、本人が行きたい所へ行ける支援ができていない。 | 馴染みな人や場との関係が継続できるように支援する。                          | ・利用者の思いや家族からの情報などから、行きたい所やしたい事の思いをくみ取り、家族と協力し叶えられる様に支援する。<br>※感染症の状況を見ながら実践する | R 6. 6. 14～<br>R 7. 3. 31 |
| 2    | 13   | スタッフ不足は深刻な中で、質の良いケアが出来る様に研修に取り組む必要がある。                                        | 管理者は職員を育てる取り組みを実施し、スタッフのケアの質が向上できるように支援する。         | ・各委員会活動への参加、委員会議事の周知、マニュアルの徹底、会議への参加、研修受講、個人面談などを行い、全体の底上げを行う。                | R 6. 6. 14～<br>R 7. 3. 31 |
| 3    | 12   | 重度化や終末期に家族や利用者が不安を感じる事がある。                                                    | 重度化や終末期の各段階で、事業所は、家族や利用者との面談を行い、思いに沿った、より良い支援ができる。 | ・在宅医療チームとの連携を図り、速やかな支援を行う。<br>・スタッフの研修を定期的に行い、不安なくケアが行えて、家族や本人の思いに寄り添っている。    | R 6. 6. 14～<br>R 7. 3. 31 |
| 4    | 3    | 運営推進会議の場をもう少し活用し、有意義な意見を頂いていきたい。                                              | 運営推進会議を更に活用し、より良い支援につなげていける。                       | ・外部評価でのアドバイスや目標達成計画などを報告して、更に有意義会議の場とする。                                      | R 6. 6. 14～<br>R 7. 3. 31 |
| 5    |      |                                                                               |                                                    |                                                                               |                           |

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

